

報恩講



報恩講にあたって

私どもの東大谷高校は、浄土真宗の教えにもとづく教育を建学の理念としております。

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は承安3年（1173年）京都の東南日野の里でお生まれになり、9歳の時に出家し以後20年間天台宗比叡山で諸々の修行を積まれました。29歳になられた建仁元年（1201年）自ら比叡山を降りる決意をされ、その後法然上人に帰依され専修念仏の教えを深く学ばれます。しかしながら専修念仏の教えが迫害にあい、法然上人は土佐へ親鸞聖人も越後の国へ流罪となります。4年後に流罪を解かれた親鸞聖人は関東や京都においてひたすら布教の傍ら主著となる「教行信証」などの執筆活動により、その御教えを今に残されました。そして弘長2年（1262年）11月28日、90歳の齢をもって永眠なされたのであります。

「報恩講」とは、宗祖親鸞聖人がその生涯を終えられた11月28日に、宗祖のご遺徳を讃え、その恩徳に感謝し報いるために行われるお勤めの行事であります。この機会に宗祖の教えをあらためて感得するとともに、自ら人としてのあり方・生き方を真摯に見つめたいと思います。

式次第

1. 朝礼 『恩徳讃』
1. 勤行 『正信偈』
1. 挨拶 理事長・校長
1. 法話 やなせ なな 師
教恩寺(奈良県)住職・シンガーソングライター
1. 讃歌 『報恩講の歌』

日時 2023（令和5年）11月28日（火）

1回目 8:50～10:30(生徒登校 8:25) 1年生、2年生5,6,7,8組

2回目 10:50～12:30(生徒登校 10:25) 2年生1,2,3,4組、3年生

会場 東大谷高等学校 講堂

東大谷高等学校